

平成 30 年度活動報告書

法人の名称 NPO法人ミニシティ・プラス

1. 事業活動方針

NPO 法人ミニシティ・プラスは「こどもの社会参画」を推進するためにさまざまな角度から事業を行っています。30 年度も、定款に基づき、「まちづくり」を通して、大人も子どもも、生まれてきたすべての人が、社会の大切な一員であることをお互いに認め合い、助け合ってこそ、より良い社会がつけられるという団体の理念を実行して来ました。また、このような活動を持続可能なものにしていくために、賛助会員、サポートメンバーを増やすべく、インフラを整備し、指定 NPO になりました。今後認定 NPO を目指していきます。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る活動

①こどもが創るまち「ミニシティプログラム」の研究、開発に関する事業

30 年度の「ミニヨコハマシティ（ミニヨコ）」は、昨年同様都筑区総合庁舎で行う予定でした。しかし 4 月に選挙を控え、都筑区役所が期日前投票の場になることから、会場を探し、港北みなもでの開催となった。次年度開催したいという緑区のこどものまち実行委員のこどもたちもミニヨコに運営市民として参加し、お店を開きました。

また、ミニたまゆり（田園調布学園大学）が中心となり、実施しているかながわ子ども合衆国事業で、ミニヨコ市長が、大統領選挙に当選したことから、大統領公約としての、こどもマルシェを、ミニヨコ会場で同時開催しました。

「こどもがつくるまちサミット U19」が、兵庫県で開催され、NPO スタッフとともに中学生、高校生会員が参加し、全国のこどものまちな代表たちと交流しました。

◆ 第 12 回「ミニヨコハマシティ」開催

内容) こどもがつくるまち「ミニヨコハマシティ」の実施
場所) 港北みなも
実行期間) 2018 年 12 月より子ども会議開催～2019 年 3 月 30 日、31 日開催
従事者人員) 8 人
受益対象者 19 歳以下のこどもたち、約 600 人
支出額 921,304 円

◆ かながわ子ども合衆国参加

内容) ミニたまゆりを運営する田園調布学園大学が事務局となり、かながわのこどものまちなネットワーク構築と、これから新しいまちを開きたい地域への支援をするプロジェクト。大統領選挙にミニヨコハマシティ市長が当選し、大統領となり、その公約に基づき、こども会議を実施し、ミニヨコで神奈川こども合衆国マルシェを行いました。
場所) 田園調布学園大学、神奈川県庁、港北みなも等
実行機関) 2018 年 4 月～2019 年 3 月
従事者人員) 3 人
受益対象者 ミニヨコハマシティ市長、副市長、運営市民代表
支出額 上記ミニヨコハマシティに含まれる

②「ミニシティプログラム」の普及・啓発に関する事業

◆ U19 こどものまち全国サミット@兵庫高砂参加

内容) こどものまちなこども実行委員による、意見交換と交流の場にミニヨコ市長と副市長が参加しました。
場所) 兵庫県高砂市
実行期間) 2018 年 2 月
従事者人員) 3 人
受益対象者 ミニヨコ市長、副市長、全国のこどものまちな U19 たち。
支出額 43,170 円

◆ 他地域でのミニシティ開催サポート

内容) 緑区 50 周年記念イベントとしてのこどものまちを開催したいとの相談を緑区役所から受け、こども実行委員募集のお手伝いをし、実行委員のこどもたちをミニヨコで受け入れました。

場所) 緑区役所、

実行期間) 2018 年 10 月～2019 年 3 月

従事者人員) 3 人

受益対象者 緑区こどものまち実行委員

支出額 91,230 円

◆ 特命子ども回答団

内容) 生活クラブ生協の冊子「生活と自治」の大人の悩み相談室を担当しています。大人の悩みに答えるこどもたちの回答が好評です。

場所) 回答をする会議場所：シェアリーカフェ

実行期間) 2018 年 4 月～2019 年 3 月

従事者人員) 1 人

受益対象者 生活クラブ生協の冊子の読者

支出額 55,890 円

③地域まちづくりの活性化を目指したイベントの企画・運営に関する事業

◆ つづきジュニア編集局

内容) 公募で集まったジュニア記者が、こどもたちの目線で、都筑区のまちを取材し、情報発信。まちのファンを増やし、まちづくりに役立てる活動。新聞発行等。

実行期間) 2018 年 5 月～2019 年 3 月

従事者人員) 3 人

受益対象者) 小学 4 年～中学生までの青少年 37 名

支出額 316,531 円

◆ MM ジュニア編集局

内容) 公募で集まったジュニア記者が、こどもたちの目線で、みなとみらいやその周辺のまちを取材し、情報発信。まちのファンを増やし、まちづくりに役立てる活動。新聞発行等。

実行期間) 2018 年 5 月～2019 年 3 月

従事者人員) 3 人

受益対象者) 小学 4 年～中学生までの青少年 12 名

支出額 484,794 円

◆ こどもメディアシンポジウム

内容) つづきジュニア編集局での活動が 10 周年の節目を迎え、シンポジウムを行うことになりました。東京都市大学と連携し、中村雅子先生にいままでのレビューと子どもメディアの価値についてお話いただき、いままでも交流があり、同じようにこどもたちが主体となり活動をしている、石巻日日こども新聞の記者、川崎のじもたん Kids 他、つづきジュニア編集局の卒業生を招いてディスカッションしました。

実行期間) 2018 年 2 月 17 日

従事者人員) 3 人

受益対象者) つづきジュニア編集局、MM ジュニア編集局、この活動に関心のある方 70 名

支出額 上記編集局事業に含まれる

④地方自治体や地域活動団体、国際交流団体等公益団体との協働事業

◆ 特命子ども地域アクタープロジェクト

内容) こども・青少年があたりまえに社会参画する地域基盤構築を目指す事業
公募で集まった 44 名の小学 5 年～高校生までの「特命子ども地域アクター」に、まちづくり講座を横浜市立大学と協力し提供し、まちづくり現場 (9 団体) への派遣を NPO メンバーがサポートしながら実施。派遣後にリストラウンジ (関内) で成果発表会を行った。

実行期間) 2018 年 4 月～2019 年 3 月

従事者人員) 10 人

受益対象者) 小学 5 年～高校生までの青少年 53 人、まちづくり団体 11

支出額 4,406,229 円

⑤その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

◆ **組織基盤強化事業**

内容) よこはま夢ファンドの助成金に応募し、団体内での意識改革やスキルアップを図る組織基盤強化事業をおこないました。団体内でのビデオ作成の研修やパンフレット制作をしました。
場所) とくになし
実行期間) 2018年4月～2019年3月
従事者人員) 2人
受益対象者 当団体会員
支出額 317,266円

◆ **中川ふれあいフェスタに参加**

内容) 事務所のある中川でのおまつりに参加し、ミニヨコをPRしました。
場所) 中川駅前周辺
実行期間) 2018年5月26日
従事者人員) 2人
受益対象者 おまつりを訪れた方たちでミニヨコブースによってくれた約100人程度

(2) その他の事業

今年度はとくになし。